

NUBIC知的財産情報開示

開示日： 2013年11月08日

各位

NUBIC知的財産情報の要約をお届けいたします。
尚、NUBICベンチャークラブ特別会員、一般会員にはすでにお知らせしています。

	NUBIC管理番号: <input type="text" value="2010000002"/> 整理番号 <input type="text" value="11501"/> 担当者 <input type="text" value="小野 洋一"/>
表 題	低周波音測定における風ノイズの影響を評価できる騒音計測システム
技術分野	<input type="text" value="電気・電子"/> <input type="text" value="土木・建築"/> <input type="text" value="環境"/>
適用製品	騒音計, 低周波音レベル計, 風速計
目 的	屋外における騒音測定は風の影響を受け、測定目的の音に風ノイズが混入する。マイククロフォンに球形のウィンドスクリーンを装着しても風ノイズを完全に除去することはできない。特に周波数が低い領域で影響が大きい。本発明は、騒音測定における風ノイズレベルを評価し、低周波音のレベルを正しく評価することを目的とするものである。
技術概要	<p>本発明では、騒音計の近傍に風速計を配置し、音圧と風速変動を同時に計測する。風速変動からは、1秒刻みに平均風速と風の乱れ強さを算出する。これらを予め定めた風ノイズレベル評価式に代入して、周波数帯域ごとの風ノイズレベルおよび全帯域の風ノイズレベルを算出することができる。算出された風ノイズレベルは測定された音圧レベルと同時にリアルタイムに表示でき、風ノイズの大きさが目的音の大きさを上回るか否かの判断ができる。風ノイズレベル評価式は、風の乱れ特性が異なるさまざまな場所での観測データに基づいて本発明で独自に誘導した。</p> <p>本発明のシステムによれば、風ノイズを目的音と誤認する恐れを解消できる。現状の低周波音の測定は風速5m/s以上のときは測定できないが、本発明では、風速レベルによらず測定したデータから、事後に風ノイズの影響がないデータを抽出可能であり、低周波音計測の効率と正確さが格段に向上する。</p>

技術移転等をご希望の場合は、下記事項をご記入の上、本用紙にてお申込みください。

(FAX, e-mail, 郵送いずれでも可。)

各担当コーディネーターからご連絡を差し上げます。

面談希望日時	<input type="text"/>		
(ふりがな) 氏 名	<input type="text"/>		
会社名	<input type="text"/>		
所 属	役職 <input type="text"/>		
電話番号	<input type="text"/>	FAX番号	<input type="text"/>
E-mail	<input type="text"/>		
連絡事項	<input type="text"/>		



【申込み・問い合わせ先】

日本大学産官学連携知財センター(NUBIC)

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 日本大学会館

TEL:03-5275-8139 FAX:03-5275-8328 E-mail:nubic@nihon-u.ac.jp